

様式第1号

会 議 録

会議の名称		令和5年度第2回つくば市公共交通活性化協議会		
開催日時		令和5年(2023年)11月7日 開会 14:00 閉会 16:00		
開催場所		つくば市役所 本庁舎2階 会議室 201		
事務局(担当課)		都市計画部総合交通政策課		
出席者	委員	岡本委員、寺田委員(代理:山浦様)、國下委員、仲野委員(代理:玉村様)、前田委員、松橋委員、大原委員、澤畠委員、大貫委員、廣瀬委員、色川委員、今里委員(代理:岡本様)、北島委員(代理:津野様)、柳田委員、長委員、貝塚委員、内野委員、鈴木(誠)委員、谷田部委員、大澤委員、鈴木(裕)委員、野澤委員、一色委員、宮崎委員、小原委員、根本委員、富田委員、大里委員		
	その他 (オブザーバー)	(一財)計量計画研究所 (株)Community Mobility つくば市科学技術戦略課		
	事務局	根本次長、細谷課長、上田課長補佐、田村係長、井崎主任、宮本主事		
公開・非公開の別		☒ 公開 ☐ 非公開 ☐ 一部公開	傍聴者数	2名
非公開の場合は その理由				
議題		(1) 報告案件 ・案件1 つくバスの令和6年4月改正について(中間報告) ・案件2 令和5年度公共交通政策点検・評価業務について(中間報告) ・案件3 つくタクシーを活用したAI オンデマンドシステムの実証実験事業について ・案件4 視覚障害者移動支援実証実験結果について ・案件5 令和5年度4月～8月利用実績について(つくバス・つくタク・つくばね号・路線バス実証実験) ・案件6 新高校生(令和5年度入学生)へのバスお試し乗車券配布結果について ・案件7 令和4年度広域連携バス利用実績について ・案件8 公共交通利用促進活動について ・案件9 つくタクの改善策について		
会議録署名人	—	確定年月日	令和	年 月 日

様式第1号

会議次第	1 開会 2 挨拶 3 議題 (1) 報告案件 9件 ※各案件項目は「議題」のとおり 4 その他 5 閉会
	<審議内容>○：委員 ●：事務局 ◎：オブザーバー ・報告案件1 つくバスの令和6年4月改正について（中間報告） ●事務局：つくバスの令和6年4月改正について報告。今回、関東鉄道からの要請により、運転士の経路誤りを防止するため、作岡シャトル等のつくば市役所を経由するシャトルにおいて、平日は全便市役所を経由し、休日は全便経由しないように統一してある。 また、バス運転士の効率化のため、令和6年度～7年度の2か年でバス路線再編の検討を行う予定である。 ○会 長：次回の協議会で審議し、ダイヤを確定後速やかに市民に対して周知を行うとあったが、大幅な改正を予定しているので、市民に対しては丁寧な周知をしていただきたい。また、民間路線バスもダイヤに変更があれば一緒に案内していただきたいと思うが、路線バスの改正はこのタイミングにはないか。 ○委 員：路線バスも同じように運転士の確保が難しく、路線バスの減便も検討している最中である。当社で担当しているコミュニティバスについては、つくば市に限らず他市についても同様に減便を要請している。 ○会 長：今後は、つくバスと路線バスを乗り継いで活用するといったことをはじめ、様々な工夫が必要になるかと思う。また、できる限りつくバスと路線バスのダイヤ改正を同じタイミングで発表していただきたい。 ○会 長：運行ミスを防止するため、平日全便で市役所経由に統一したとのことだが、朝の時間帯などで研究学園駅に向かう利用者にとっては、誰も待っていない、降りるはずのないつくば市役所に停まるというのは歯がゆいと思う。どうにか回避できないものか。 ○委 員：全便でつくば市役所を経由することで研究学園駅に向かう利用者

にとっては、歯がゆいことになることは認識している。一方で、時間帯によって市役所を経由する便としない便の設定を行うと、運転士が困惑しミスを誘発するので御理解いただきたい。

○会 長：運転士へ道順を事前に案内できるシステムがあればよいと考えるが、引き続き検討していただきたい。市役所を経由することによる3分の差は大きいと思う。

○委 員：市役所の開庁時間外もバスが止まるのであれば、それを利用して市役所の職員がバスで通勤するといった使い方を促せないのだろうか。市役所職員が通勤で使うことがあれば、誰も乗らない状態は回避できるのではないか。

●事務局：関東鉄道と引き続き協議を進めるが、市役所に全便経由することが確定した場合については、有効活用のため、つくバスを利用した通勤への切り替えを促していきたい。

○会 長：次回の会議の中で議論したい。

・報告案件2 令和5年度公共交通政策点検・評価業務について

●事務局：令和5年度公共交通政策点検・評価資料について報告

○委 員：10月24日につくタクを利用した。乗車した感想としてはすごく便利だったと思う。予約がなかなか取れないと聞いていたが、運良くすぐに予約が取れ、定刻で出発した。私は、来年免許返納する予定であるため、今後ともつくバス、つくタクをうまく活用していきたい。

○会 長：ぜひ引き続きつくバス、つくタクを使っていきたい。つくタクの現行の制度や予約方法は、多少なりとも不満が指摘されている。つくタクの制度改正等を行うことで運賃収入をもう少し上げて頂きたい。また、つくバスや路線バスを利用できない人にはつくタクを利用してもらうという側面もあるかと思う。次回の検討結果報告に期待したい。

・報告案件3 つくタク車両を活用したAI オンデマンドシステムの実証実験事業について

●事務局：つくタク車両を活用したAI オンデマンドシステムの実証実験事業について報告

○委 員：決済方法が現金とつくタク利用券のみであるが、スマートシティ協

議会の事業の一環として行うのであれば、スマホアプリなどによるキャッシュレス決済を導入したほうがよいのではないかな。

- 事務局：今回の実証実験は国に申請済みの現行つくタク制度の範囲内で実施するため、運賃や決済手段はつくタクと同一のものにした。キャッシュレス決済などの利便性向上策は検討する必要があると考えているため、利用された方のアンケート結果も踏まえて、令和7年度につくタクにAI オンデマンドシステムを本格導入する際のサービスを検討していきたい。

○委員：資料3の別紙（荃崎地区 AI オンデマンドサービス利用ガイド）の右側に小人割引の記載がある一方、左側に子供 150 円とあり、資料が見にくいので整理したほうがよい。また、アプリがインストールできない、使えないといった相談には受託会社がフォローするのか、それともつくば市で対応するのか。実証実験を開始する前に窓口センターで説明会を実施し、アプリを操作してみる機会があってもよいと考えるが。

- 事務局：小人運賃の記載については御指摘のとおりなので、利用ガイドをブラッシュアップして、見やすくしたものを配布したい。実証実験中はアプリの予約のみ対応しているため、今後どれだけスムーズにアプリをインストールしてもらえるかにかかってくる。11/21 に荃崎交流センターで本実証実験の説明会を科学技術戦略課と合同で実施する予定があるため、そこで併せてアプリのインストール方法を教えることを検討している。それでもインストール方法が分からない場合には mobi のカスタマーサポートに電話していただくことで対応する。

○委員：窓口センターがうまく機能すればと思う。

○会長：資料には医療 MaaS と記載されているにもかかわらず、中身はつくタクを使った AI オンデマンドになっている。結局これが医療 MaaS にどのような貢献をするのか。

- ◎オガバー：つくば市のスーパーシティ特区で「つくばサイエンスシティ構想」を掲げており、その中で移動を解決するために、病院の予約と連携させてタクシーの予約ができるシステムを MaaS として実現することを目指している。病院システムとの連携についての課題が解決できていないため、今回は先行して移動に関して実施している。医療 MaaS の「医療」の部分が欠落しているところは否めない。今回

の実証実験では、移動の部分だけ解決し、今後先端的サービスの実現を目指していくというところで御理解いただきたい。

○会 長：病院に行く人しか使えないのかとイメージを与えるので、注釈等をつけて広報をお願いしたい。通院でオンデマンド交通が使われない理由として、帰りの時間が読めないことが挙げられる。そのため、通院者は家族の送迎や自分の運転に頼らざるを得ない。是非、サイエンスシティ構想の枠組みの中で問題を解決できないだろうか。医師に診療終了予定時間などの情報を入れてもらうことは困難であると思うが、病院の中で待ってもらう等、何かうまく病院のシステムを組み込めるよう、検討していただきたい。

・ 報告案件4 視覚障害者移動支援実証実験結果について

●事務局：視覚障害者移動支援実証実験結果について報告

○委 員：資料を見ると点字ブロックにQRコードを貼り付けるとのことだが、泥で汚れて読めない、破損する等、QRコードの耐久性のリスクがあると思う。そのあたりはどのように本格導入に向けてクリアできているのだろうか。

●事務局：本技術は東京メトロやJRの大阪駅でも導入されているがこれまで、そういった報告は受けていない。また、点字ブロックにQRを貼るときにはプライマー処理をすることで、容易に剥がれないような加工をしている。QRコードは1か所につき1枚ではなく、複数枚のシールを貼るため、どれか1つが汚損や破損しても、隣のQRコードシールがカバーできるようにしている。

○会 長：実証実験について詳細なレポートはあるのか。

●事務局：報告書が冊子で納品されており、バリアフリーマスタープランを担当する企画経営課には情報提供した。冊子は容量が大きいため、今回の協議会では概要を報告する形で対応させていただいている。

○会 長：駅だけでなく街路でも活用できるようであれば使っていただければと思う。バリアフリーマスタープラン検討委員会でも、本件を事例として紹介したい。

・ 報告案件5 令和5年度4月～8月利用実績について

(つくバス・つくタク・つくばね号・路線バス実証実験)

●事務局：令和5年度4月～8月の利用実績について報告

※意見とくになし

・報告案件6 新高校生（令和5年度入学制）へのバスお試し乗車券配布結果について

- 事務局：新高校生（令和5年度入学制）へのバスお試し乗車券配布結果について報告

○会 長：昨年度までは春先に新高校生に対してお試し乗車券を配布していたが、今年度は進学先を検討する段階である夏頃に配布しているため、そちらの結果は次回報告いただきたい。

・報告案件7 令和4年度広域バス利用実績について

- 事務局：令和4年度広域バス利用実績について報告

○会 長：報告いただいた広域バスは、つくバスと同様に2024問題で減便等の可能性はあるのだろうか。

- 事務局：つくバスの北部シャトルが筑波山口で連携しているため、本会議終了後、北部シャトルの減便ダイヤ案を桜川市、筑西市の担当者に情報共有する予定である。それを踏まえての両市でのダイヤ改正の可能性はあると思う。

・報告案件8 公共交通利用促進活動について

- 事務局：公共交通利用促進活動について報告。

○委 員：つくばね号の時刻表を見たことがないため、パンフレットがあれば、資料に入れていただけるとありがたい。

- 事務局：部数に余裕がないため用意していないが、「つくばね号ガイド」といったパンフレットは作成している。窓口センターには置いているものの、市内の交流センターには置いていない。

○委 員：つくば市全体に置いていただけると嬉しい。

○会 長：つくバスガイドに路線バスやつくばね号の情報を統合することで、市民が皆知っているサービスにできればと思う。ガイドが分厚くなりすぎるなど課題もあると思うが、検討してもらいたい。

・報告案件9 つくタクの改善策について

- 事務局：つくタクの改善策（予約上限の設定）について報告。

○委員：つくたくの上限回数件について承知した。他方、医療 MaaS 実証実験では1週間前から2件まで入れられるという認識で良いか。

●事務局：間違いない。

○委員：予約上限回数はしっかり議論したが、実証実験では予約回数をフレキシブルに変えられるため、色々試してみて一番良いやり方を選べれば良いと考える。

・全体を通して

○会長：全体を通して意見があればお願いしたい。

○委員：報告案件6の新高校生のお試し乗車券について、できるだけ通学定期として使う生徒、高校生を増やそうという意図があると思うが、実際に定期を使ってバス通学する生徒はどれほどいるのだろうか。バス通学の学生が増えているのか、減っているのか。また、資料6はどこの中学・高校の子が使用したか調べられているが、その分析結果の活用の仕方が見えない。

○会長：この事業は、高校生の皆さんに新生活のときにバスのある生活を試してもらって、快適なら使ってもらう、ダメなら非常時にこういうルートがあるということを知ってもらおうという思いでお試しの乗車券配布を始めた。今年度からは進学先の検討段階で通学方法の1つとしてバスがあることを知ってもらうため、7月の夏休みに使えるように、配布時期を変更している。公共交通もあるからこの高校も行ける、という発想で使っていただければと考えている。

○委員：その発想であれば、全体の利用枚数が分かれば良いと思う。どこの中学生、高校生が使ったという分析の活用の仕方が見えないので、事務局の負担も考えるとそこまで分析は不要ではないか。

○会長：データについては茨城県の集計結果から引用しているのではない。また報告案件1のつくバス改正について、みどりの南小中学校の開校(令和6年4月)に合わせて新たにつくバスを通す必要はないか。バスで通学する生徒は想定していないのか。

○委員：学区が近いので想定していない。

・その他

●事務局：次回の協議会については1/18を予定している。

以上